

ICT で時間・空間・仲間を生かした体育学習を目指して

令和4年11月4日
江戸川区立南葛西第二小学校

○一人1台端末が配備される以前の課題

①紙のワークシートでの振り返りの課題

子供の振り返りに対して担任がコメントを書くという1対1のやり取りしかできていなかった。授業で紹介したとしても2、3人程度に留まっていた。

②動きのポイント集の課題

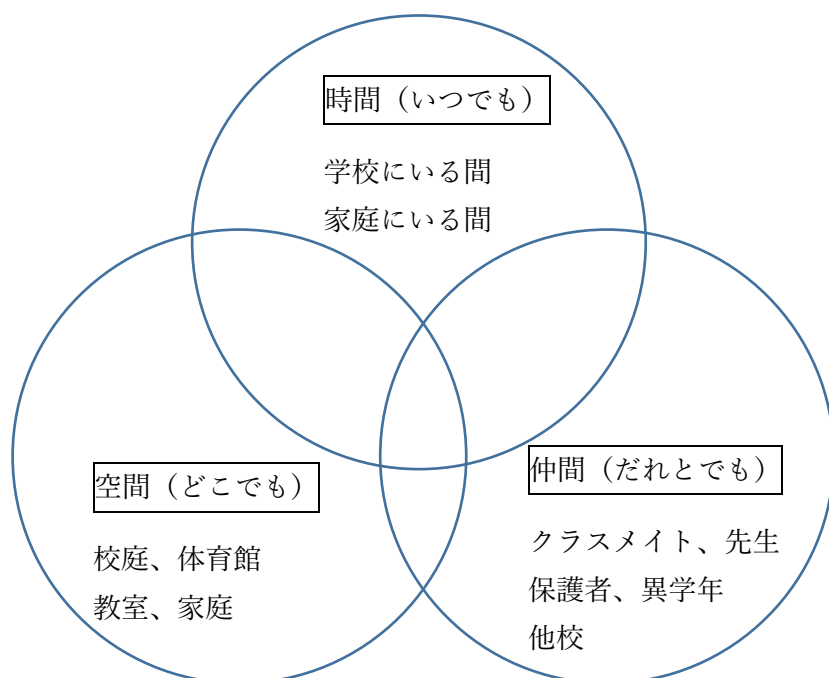
動きのポイントを載せた資料も紙面であった。器械運動系となると学習指導要領解説に例示されている技だけでも多くの紙を必要として印刷や配布の手間があったり、紙面では動きの連続性が伝わらなかったりしていた。

③児童同士の助言での課題

子供同士、口頭で伝えることが多かった。そのため、あくまでイメージの中でしか自分の動きを見つめなおすことができなかった。

○これらの課題を解決するために、ICTを活用していく。

これまで取り組んできたことをICTに置き換えるという発想ではなく、
これまで出来なかったことをICTで実現するという発想に転換していく。



○ICT 機器を利用することで、子供たちがいつでも・どこでも、学習カードに記録したり、自分の動きを見直したり、お手本の動画を見たりすることができる。

○インターネットを利用することで、学級の枠、学年の枠、学校の枠を越えてお手本の動画を共有したり、振り返りの内容を共有したりすることができる。



5年生マット運動でタブレットを利用した学習の様子

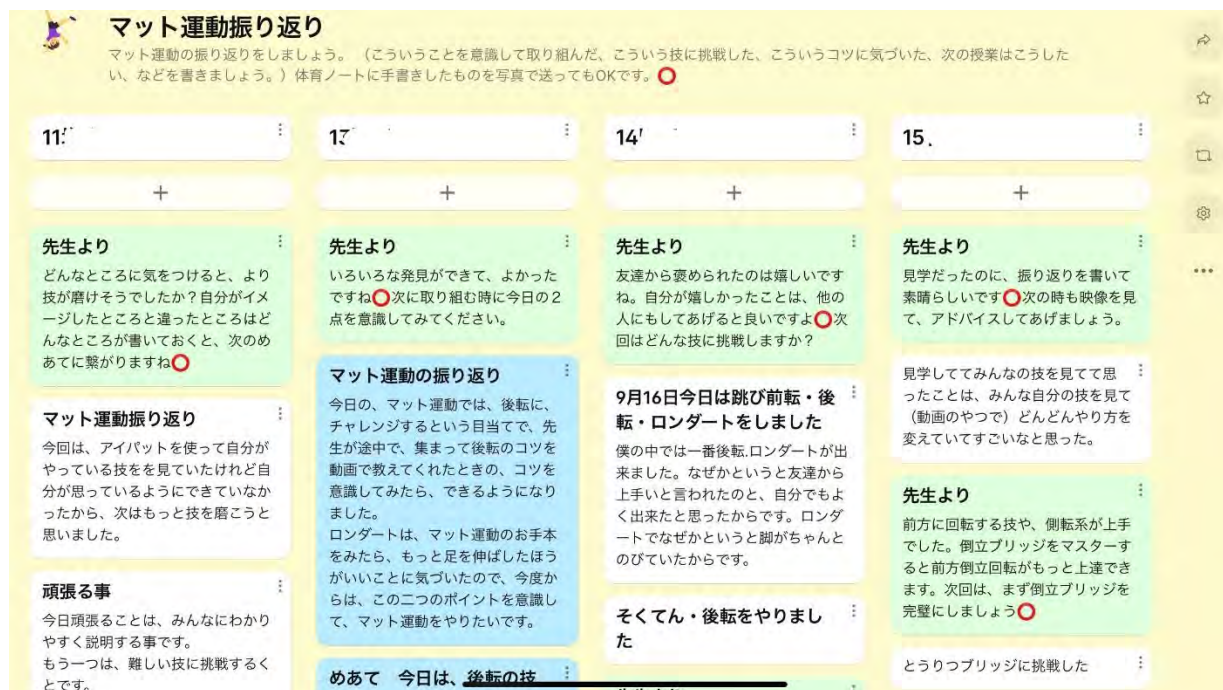


動画を遅延するブラウザで、自分の動きを見直しながら友達に助言をもらっている様子



お手本の動画を見て、技のポイントを理解している様子

○学級の全員で振り返りを共有（Padletを活用した例）



Padletを活用することで、全員が友達の振り返りを見ることが可能となった。これまでの紙面であると、どんなことを振り返りで書けばよいか悩んでいた子も友達の振り返りの内容を真似して書けるようになった。また、振り返りの内容で「〇〇さんのおかげで～」や「〇〇さんの動きを見て～」などが書く子がおり、それを書かれた本人も見ることができ、よい人間関係づくりができていていると思う。



←
タイムシフトカメラ
(動画が遅延します。)



←
本校でPadletを利用して作成したお手本の動画集(高学年マット運動)